

## 別紙 研修概要書

名 称	第2回 函館市医療・介護連携多職種研修会
目 的	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年4月から稼働する「函館市医療・介護連携支援センター」の機能と役割を理解する。</li> <li>医療・介護の現場の実例を通じて、双方の立場や悩み、または負担となっていることを関係多職種間で共通認識し、切れ目のない医療・介護が必要な局面での、適切な連携のあり方について協議する。</li> <li>関係多職種間の「顔の見える関係づくり」や率直な意見交換の場として、研修会終了後に懇親会を開催する。</li> </ul>
共 催	函館市（函館市医療・介護連携推進協議会） 函館市医師会（函館市医療・介護連携支援センター準備室）
日 程	平成29年2月11日（土） 14:00～17:00（予定） ※ 研修終了後、職種を超えた交流を目的とした懇親会を予定
会 場	ホテル函館ロイヤル （函館市大森町16-9 電話26-8181）
司 会	道南訪問看護ステーション連絡協議会 会長 高畑 智子
テ ー マ	「切れ目がある医療・介護連携に焦点をあてる」
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演「函館市医療・介護連携支援センターについて」 演者 函館市医療・介護連携支援センター準備室 医療福祉相談係長 高柳 靖</li> <li>事例「シームレス化できなかった事例」 発表 函館脳神経外科病院 医療ソーシャルワーカー 阿部 綾子</li> <li>グループワーク（最大30テーブル／8人掛け） ① 同職種グループ「専門職の視点で見える問題点と適切な連携のあり方」 ② 多職種グループ「多職種の視点で見える問題点と適切な連携のあり方」</li> </ul>
参加対象	市内の医療・介護関係者
参加人数	約250名（見込）
参加費用	無料（懇親会参加費用は別途徴収 ※金額は3,500円程度）
関係者参考	<p>【函館市医療・介護連携推進協議会 多職種連携研修作業部会】 北海道医療ソーシャルワーカー協会 酒本 清一 部会長 函館市居宅介護支援事業所連絡協議会 中村 清秋 副部会長 函館歯科医師会 岩井 祐司 函館薬剤師会 水越 英通 北海道看護協会 北村 和宏 道南在宅ケア研究会 佐藤 静 函館地域医療連携実務者協議会 船山 俊介 北海道柔道整復師会 齋藤 久剛 函館鍼灸マッサージ師連携会 益井 基 函館市地域包括支援センター連絡協議会 京谷 佳子 函館市訪問リハビリテーション連絡協議会 寺田 昌弘 道南訪問看護ステーション連絡協議会 高畑 智子 道南地区老人福祉施設協議会 齋藤 禎史</p> <p>【函館市医療・介護連携支援センター準備室】 センター長 檜木 賢三、伊藤 正純、高柳 靖、佐藤 静、長谷川 奈生子、川村 芙美子</p>
備 考	アンケート実施

## タイムテーブル

平成29年2月11日（土） 午後2時～午後5時（開場 午後1時30分）

時刻	タイトル	主な講師	分類	時間	司会
13:30	開場	司会		—	司会…高畑 智子 (サブ司会…京谷 佳子 ※事務連絡)
14:00	開会挨拶／趣旨説明	司会 本間会長	他	5分	
14:05	講演	高柳 講師	講義	30分	
14:35	事例説明／グループワーク進め方説明	MSW 司会	説明	10分	
14:45	グループワーク① 「同職種」	司会	演習	50分	
15:35	休憩, 席移動	司会	説明	10分	
15:45	グループワーク② 「多職種」	司会	演習	50分	
16:35	グループワーク発表	司会	演習	20分	
16:55	総評 (Dr)	司会	演習	5分	
17:00	閉会挨拶／アンケート依頼／懇親会案内	司会 主催代表	他	5分	
17:05	アンケート記入, 会場移動 (懇親会出席者)	—	他	—	
小計				185分	
17:30	懇親会			90分	
19:00	(終了)				
合計				275分	

スタッフ分担表

(①=1名, ②=2名, ③=3名となります)

時刻	タイトル	酒本	中村	高畑	京谷	高柳	訪看②	訪リハ②	イカ②	地連①	居宅①	MSW①	老施協②	柔道②	函鍼連②	センター③	
事前準備	参加者名簿、GW席順、名札作成、資料作成、模造紙作成					○											○
	ファシリテーター会議 (1/26)	○	○	○	○	○											○
11:30	集合	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	会場に荷物搬入					○											○
	机・椅子配置確認	○				○											○
	受付設営	○				○	○	○	○	○	○						○
	場内資料・名札準備	○											○	○	○		○
	機材設置・音響確認	○		○	○	○											○
13:00	ファシリテーター到着																
	ファシリテーター打ち合わせ	○	○	○	○	○											○
13:15	場外誘導開始												○	○	○		
	受付開始	○					○	○	○	○	○	○					
	来場者出迎え	○	○														○
14:00	開会・挨拶		○	○	○												
	資料確認・落丁時配付			○									○	○	○		○
	司会			○													
	サブ司会 (事務連絡)				○												
	質疑等マイク対応												○	○	○		
	写真												○	○	○		○
	研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	閉会・挨拶		○	○													
17:00	研修会終了																
	懇親会参加者を誘導	○	○	○	○	○											○
	アンケート・名札回収・受講者見送り						○	○	○	○	○	○					○
	後片付け	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(研修会終了)																
17:30	懇親会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	司会				○												
	開会挨拶																
	懇談																
	閉会挨拶																
19:00	(懇親会終了)																



第2回 函館市医療・介護連携多職種研修会（進行読み上げ原稿）

（司会 高畑 智子 ）※ 事務連絡（サブ司会 京谷 佳子 ）

時間	内容	読み原稿
13:45 開会 15分前	事務 連絡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会は14時から開始いたします。開会に先立ち、皆さまにお願いを申し上げます。</li> <li>・研修の妨げにならないように、携帯電話は、マナーモードにするか、電源をお切り頂くなど、音の出ない状態にして頂くよう、お願いいたします。</li> <li>・お車でお越しの方に申し上げます。ホテルの駐車場をご利用の方の駐車券の認証は、1Fフロントまたはエレベーター付近にある認証機をご利用ください。</li> <li>・上着につきましては、会場内にハンガーを用意しておりますので、各自ご利用いただきますようお願いいたします。</li> <li>・本日の資料につきましては、机の上に配布（別紙資料一覧）されておりますので、ご確認願います。</li> <li>・グループワークの際、お互いの名前や職種が良くわかるよう、名札のひもを短めにして、机の上に名前が出るように工夫して頂きたいと思っております。</li> </ul>
13:58 開会 1～3分前	事務 連絡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まもなく14時となりますので、定刻どおり研修会を開催いたしますので、お席についてお待ちいただきますよう、お願いいたします。</li> <li>・なお、繰り返しになりますが、携帯電話は、マナーモードにするか、電源をお切り頂くなど、音の出ない状態にして頂くよう、お願いいたします。</li> </ul>
14:00	司会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいまから、「第2回 函館市医療・介護連携多職種研修会」を開催いたします。</li> <li>・本日司会を務めさせていただきます、道南訪問看護ステーション連絡協議会 会長 高畑 智子です。</li> <li>・何分不慣れではございますが、円滑な進行のため、ご協力をお願いいたします。</li> <li>・それでは、開会に先立ちまして、公益社団法人 函館市医師会 会長 本間 哲 からご挨拶を申し上げます。</li> </ul>
	挨拶	（函館市医師会 会長 本間 哲）
	司会	・ありがとうございました。
14:03	司会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、これから研修会の方を進めてまいります。</li> <li>・まず最初に、私の方から、本日の研修の流れについて、簡単にご説明申し上げます。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の研修は、テーマを「切れ目がある医療・介護連携に焦点をあてる」としまして、前半の講演と後半のグループワークの2部構成としております。</li> <li>・前半のセッションは、「函館市医療・介護連携支援センターについて」と題しまして同センターの役割や機能について講演を頂きます。</li> <li>・後半のセッションでは、「シームレス化できなかった事例」について同職種、多職種に分けて2回グループワークを行います。</li> <li>・途中休憩時間を利用頂きまして、席の移動をお願い申し上げます。</li> <li>・2回目のグループワークのテーブルの席は、受付の際にお配りした席順表のお席にお座りいただきます。</li> <li>・なお、あらかじめ、各テーブルのファシリテーター、進行役の方を設定させて頂きましたので、ご承知置きください。</li> <li>・それでは、前半のセッションといたしまして、函館市医療・介護連携支援センター 医療福祉相談係長 高柳より講演を申し上げます。高柳係長、よろしくお願いいたします。</li> </ul>
14:05 (30分)	講演	<p>～講演 演者：高柳 靖</p>
14:35 (15分)	司会	高柳係長、ありがとうございました。
(5分)	司会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それではこれからグループワークに移りたいと思います。</li> <li>・本日は1つの事例のもと2回のグループワークを行います。まず、事例について説明をさせて頂きます。その後、グループワークの説明をしていきたいと思います。</li> <li>それでは、事例紹介よろしくお願いいたします。</li> </ul>
(10分)	MSW	<p>～事例紹介 発表：函館脳神経外科病院 医療ソーシャルワーカー 阿部 綾子様</p>
14:45	司会	<p>ありがとうございます。 *（別紙）「グループワークに関するお願い」<u>グループワーク①</u>までは、よろしくお願いいたします。</p>
	演習	<p>グループワーク① 同職種グループ「専門職の視点で見える問題点と適切な連携のあり方」</p>
15:35	事務連絡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まもなく、1回目のグループワークを終了いたします。この後、10分の休憩をとりまして、2回目の多職種でのグループワークとなりますので、この休憩時間を利用して、席の移動をよろしくお願い申し上げます。</li> <li>・次の開始時刻は、15:45となりますので、それまでにお席</li> </ul>

		<p>に着席をお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・席の移動に際しては、お忘れ物の無いようご注意願います。</li> </ul>
15:43	事務連絡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まもなく、2回目のグループワークを再開いたしますので、着席してお待ち願います。</li> </ul>
15:45	司会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、2回目のグループワークを開始いたします。</li> <li>* (別紙) 「グループワークに関するお願い」 <u>グループワーク②</u>からでは、お願いいたします。</li> </ul>
	演習	<p>グループワーク②</p> <p>多職種グループ「多職種の視点で見える問題点と適切な連携のあり方」</p>
16:35 (20分)	演習	グループワーク発表
16:55 (5分)	司会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みなさん、グループワークお疲れ様でした。</li> <li>・最後に、本日ご出席いただきました〇〇先生から、総評を頂きたいと思います。</li> <li>・〇〇先生、お願いします。</li> </ul>
	演習	総評
	司会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇先生、総評をありがとうございました。</li> </ul>
17:00	司会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは最後に、函館市居宅介護支援事業所連絡協議会 会長であり、本日の研修会を主催した函館市医療・介護連携推進協議会の多職種連携研修作業部会の副会長であります、中村清秋より閉会のご挨拶をさせていただきます。</li> </ul>
	会長	〇〇
	司会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以上を持ちまして、「第2回 函館市医療・介護連携推多職種研修会」を閉会と致します。長時間に渡り、お疲れ様でございました。</li> <li>・なお、皆様にお配りしておりましたアンケートにつきましては、ご記入の上、受付のボックスか、近くのスタッフにお渡しください。</li> <li>・また、この後懇親会を準備しております。懇親会の会場ですが、2階ゴールデンホールとなっております。</li> <li>・懇親会は18:00から開始いたしますので、それまでにお集まりください。</li> <li>・懇親会に参加される方は、名札をそのまま着用して、会場へ移動して頂きたいと思いますので、ご協力お願いいたします。</li> <li>・それでは、研修会を終了とさせていただきます。ありがとうございました。</li> </ul>
17:05	他	アンケート記入, 会場移動 (懇親会出席者)
17:30	他	懇親会

## ～グループワークに関するお願い～

今回の研修会は、たくさんの人数と職種が集まっております。グループワークが円滑に進み、皆様にとって有益な研修会となるよう、いくつかお願いをさせていただきます。

まず最初に本来であればグループワーク開始前に自己紹介や役割分担の時間を設けるところであります。限られた時間の中でできるだけ多くディスカッションの時間をとって頂くために割愛いたします。個々に発言するときに所属と氏名を伝える形で自己紹介として頂ければと思います。

また、役割に関しましては受付でお渡しいたしました、名簿にグループワーク①②の役割も記載させて頂いております。こちらは事務局サイドでランダムに決めさせて頂いております。こちら時間短縮のため、役割が当たっている方はご協力頂けますようお願いいたします。

### 【グループワーク① ～同職種でのディスカッション】

- 1) 初めに 10 分間の個人ワークを行います。今回の事例から浮かび上がる、問題点について、お手元の付せん紙に記載して下さい。記載については、模造紙に書かれている例を参考にして下さい。
- 2) 個人ワークが終了したら、残りの 40 分で話し合いの時間となります。まずは、それぞれが付せん紙に記載した問題点を、模造紙の「①問題点」の欄に貼り付けてください。
- 3) 次に付せん紙の内容に対して、それぞれの適切な連携のあり方を話しあって頂き、模造紙に黒色のマジックで書記の方が「②適切な連携のあり方」に記載して下さい。ここまででグループワーク①が終了となります。
- 4) グループ内で話し合われた内容を、次のグループワークで報告しあいますので、各自内容を記録・記憶しておいて下さい。  
尚、職種によっては事例の中に登場しない職種の方もいらっしゃるかと思います。その場合、なかなかイメージが付きにくいこともあるかと思っております。難しく考えず、単純に素朴な疑問でも構いませんので積極的に出し合ってください。



【グループワーク② ～多職種でのディスカッション】

- 1) 初めの 10 分間で、それぞれのグループで話し合った内容を共有する時間とします。司会者がグループのテーブルに置かれている模造紙の内容を見ながら、グループワーク①で話し合った内容を報告し、グループワーク②のメンバーで共有して下さい。また、①問題点について追加事項があれば、模造紙の「①問題点」の欄に、赤色のマジックで書記の方が記載して下さい。
  
- 2) 残りの 40 分で多職種の視点で見える適切な連携のあり方について話し合ってください。追加事項があれば、模造紙の「②適切な連携のあり方」の欄に、赤色のマジックで書記の方が記載して下さい。

※自己紹介・役割分担に関しましては、グループワーク①と同様にお願いします。

## 《 患者情報 》

患者：Aさん 80歳代前半 女性  
診断名：誤嚥性肺炎  
家族構成：娘一人（市内在住）  
既往歴：甲状腺機能低下症・脳梗塞後遺症  
経過：サービス付き高齢者住宅Bに入居中 要介護3 担当ケアマネ有

## 《 入院から退院後の経過 》

- 4月20日 前日より微熱があり、ヘルパー付き添いでC医院を受診し風邪くすりの処方を受ける。内服開始後、バイタルも安定したため施設で経過をみていたが、日に日に元気がなくなり食欲も低下。
- 4月27日 早朝、39度台の発熱と意識レベルの低下がみられ救急要請。2次輪番救急当番のD病院へ搬送、誤嚥性肺炎の診断で入院となる。その後、肺炎症状は軽快したが、廃用性症候群によるADLの低下が著明のため、リハビリ目的で転院の運びとなる。
- 6月10日 D病院からE病院へ転院。リハビリは順調に進み、ADLも肺炎発症前のレベルまで回復したため退院許可がおりる。しかし、もともと生活の場としていたサービス付き高齢者住宅Bでは、以前よりADLが低下しており夜間帯の対応も含め受入れ困難と断られる。
- 8月30日 E病院を退院し、在宅系施設Fへ入所となり、かかりつけ医は施設Fの協力病院でもあるGクリニックとなった。Gクリニックへの受診予定は9月5日の予定であったが、9月2日の時点で残薬が不足することが判明。在宅系施設FはGクリニックへ連絡し受診日の変更を依頼しようとしたが、9月2日～9月4日まで休診で連絡がとれなかった。最後に退院したE病院へ処方の追加の依頼をしたが、Gクリニックへ診療情報提供をしているとの理由で断られる。
- 9月3日 予約なしでGクリニック宛ての診療情報提供を持参してD病院を受診。D病院を受診。D病院でも対応に苦慮したがMSW介入でひと段落する。

①問題点

②適切な連携のあり方



## 第2回 函館市医療・介護連携多職種研修会

日 時：平成29年2月11日（土）

14：00～17：00

会 場：ホテル函館ロイヤル 3階 ロイヤルホール

13：30 開 場（受付開始）

14：00 開 会

挨 拶

公益社団法人函館市医師会 会長 本間 哲

14：05 講演

テーマ「函館市医療・介護連携支援センターについて」

函館市医療・介護連携支援センター準備室

医療福祉相談係長

高柳 靖

14：45 事例発表

テーマ「シームレス化できなかった事例」

医療法人社団函館脳神経外科病院

医療ソーシャルワーカー

阿部 綾子

グループワーク①

「専門職の視点で見える問題点と適切な連携のあり方」

（15：35 休憩）

15：45 グループワーク②

「多職種の視点で見える問題点と適切な連携のあり方」

17：00 閉 会

挨 拶

函館市居宅介護支援事業所連絡協議会 会長 中村 清秋

## 第2回 函館市医療・介護連携多職種研修会 アンケート

本日はお忙しい中ご参加いただき、誠にありがとうございます。

今後の参考とさせていただくべく、アンケートへのご協力をお願いいたします。

### 1. 開催日時(土曜日の午後)はいかがですか？

- 良い      どちらともいえない      良くない  
(ご意見等ございましたらお書き下さい)

### 2. 研修会を受講し、ご自身の理解は深まりましたか？

- 深まった      どちらともいえない      あまり深まらなかった  
(ご意見等ございましたらお書き下さい)

### 3. 今後もこのような研修会を続けてほしいですか？

- 続けてほしい      どちらともいえない      続けなくてもよい  
(ご意見等ございましたらお書き下さい)

### 4. 所属機関をお聞かせ下さい。

- 病院    診療所    薬局    居宅介護支援事業所    地域包括支援センター  
介護施設    訪問リハビリステーション    訪問看護ステーション    その他  
(その他の方は、記入をお願いいたします)

### 5. 職種をお聞かせ下さい。

- 医師    歯科医師    薬剤師    保健師    看護師    理学療法士  
作業療法士    言語聴覚士    柔道整復師    鍼灸師・マッサージ師  
介護支援専門員    相談員    その他  
(その他の方は、記入をお願いいたします)

### 6. その他、ご意見等ありましたらお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。